

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和5年5月19日(金) NO5 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

漢検と数検と英検…

最近、漢検（漢字検定）数検（数学検定）英検（英語検定）を受検する生徒が、職員室前で先生たちに受験料を手交する姿を見かけたり、その手続きで廊下に並んでいる姿を見かけたりすることがあります。私は、中学生にはこんな検定にたくさんチャレンジして欲しいと思います。

このような検定試験を受検することで、少なくとも2つのメリットがあります。一つは、チャレンジしようとすることで学習意欲が高まること。もう一つは合格することで、自分自身にプラスの資質が加わることです。資格が身につくことマイナスになることは絶対にありません。私が、この年になっても思うことは「資格はできるだけたくさんあった方がいい」ということです。私は教員免許と普通自動車免許、中型バイクの免許を持っていますが、今になってもっとたくさんの資格を取得しておけばよかったとよく思います。高校受験の話に目を移してみます。高校は普通科と工業、商業、農業系の学校に分かれますが、都城工業、都城商業、都城農業などはとても人気がある学校です。その理由の一つに資格が取得できることがあげられます。例えば、ボイラー一技士、測量士、建築士、溶接、秘書技能検定、簿記、日本農業技術検定、毒劇物取扱者等の資格をそれぞれの高校3年間で取得することができます。高校で取得した資格は、進路選択や就職先を決めるに当たりとても有効です。その資格があるから就職できたという生徒がたくさんいます。このことは資格が取得できる市内の私立高校でも同じことが言えます。私は普通科を卒業しましたが、普通科で取得できる資格はそうはありません。大体普通科は、その先の上級学校に進学するかを念頭に置いているので、資格取得を視野に入れていません。三股中学校にも今、指導している教科以外に別の教科の免許を取得している先生がいます。学校にとってはとても貴重な存在です。生徒の皆さんには是非多くの検定試験に挑戦して自分の幅を広げて欲しいと思います。資格が取得できるときっと自分に自信がつきます。このような成功体験は自分自信を高めるきっかけになります。どんどんチャレンジしてみてください。しっかり勉強して合格を目指す…そうすれば自己肯定感が自ずと高まります。

